

# 苗場山麓 ジオパーク

Vol.  
47

## 振興協議会だより

〔発行日〕 令和3年2月25日  
〔発行〕 苗場山麓ジオパーク推進室  
〔お問い合わせ〕 025-765-1600



### 第6回苗場山麓ジオパークフォトコンテスト結果発表

6回目の開催となりましたフォトコンテストですが、コロナ禍にもかかわらず応募総数33名、178点と大勢の方から素敵な作品をご応募いただきました。

1月下旬に、なじもんにて写真家の方2名、ジオパーク推進室長、栄村教育委員会の方1名、認定ガイドの方2名の計6名で審査会を行い最優秀賞をはじめとする各部門賞、審査員特別賞、各スポンサー賞の28賞を決定いたしました。

誌面では最優秀賞と春夏秋冬部門優秀賞を掲載させていただきます。各賞の詳しい結果は苗場山麓ジオパークのホームページ (<https://naeba-geo.org>) に掲載しています。どうぞご覧ください。



最優秀賞「足どり軽く」 斎木 文雄



春部門「春が来た！」  
若狭 久男



夏部門「大滝虹」  
城取 良祐



秋部門「晩秋の里」  
小田切 浩一



冬部門「家路を急ぐ」  
久保田 真一



### 大地のたからもの～苗場山麓ジオパーク特産商品ご紹介～



今号より、地域資源やジオサイトの特徴を活かした特産商品の魅力を順次ご紹介します。

#### 【柱状節理】有限会社 好月

ジオストーリー

30万年の噴火で流れ出た苗場溶岩は、中津川を超え沖ノ原まで達しています。冷え固まった岩を川が削り、大絶壁となりました。「柱状節理」は正に柱状節理の絶景を表現したお菓子です。



### 令和3年度 苗場山麓ジオパーク学術研究活動募集のお知らせ

苗場山麓ジオパークエリアを対象とした調査研究活動について、大学院生、研究者等を対象に地質学・地形学・考古学・歴史学・地理学・民俗学・植物学・生態学・社会学・観光学などの調査研究費の助成を行っています。1件あたり上限10万円。ただし助成対象となる研究は1人、または1グループあたり1件とします。

※詳細は苗場山麓ジオパークのホームページ (<https://naeba-geo.org>) 令和3年度苗場山麓ジオパーク学術研究奨励事業助成金募集ページをご覧ください。【応募締切】令和3年3月5日(金) ※当日消印有効





## 苗場山麓ジオパーク ジグソーパズルを大割野地区で作成

大割野地区公民館事業として、例年ジオサイト巡りが実施されていましたが、今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、やむを得ず中止となりました。地域の皆様とジオパークを学び、ジオパークに親しんでもらうことを目的としている取り組みを、違う方向で継続しようと公民館関係者様はジグソーパズルの企画・制作をしてくださいました。

パズルは「河岸段丘」をメインに「天池」「結東の石垣田」「石落し」「龍ヶ窪」「前倉橋」のジオサイトの四季折々な写真を楽しめる315ピース。苗場山麓ジオパーク振興協議会で監修、協力させていただきました。今回、地域・数量限定での寄贈、販売となりました。大割野公民館関係者の皆様、パズルを手にとってくださった皆様に感謝申し上げます。

苗場山麓ジオパークのジオサイト写真、ロゴマークの利用に関してはジオパーク推進室までお問合せください。【苗場山麓ジオパーク推進室 ☎ 025-765-1600】



## これも雪のめぐみ！「雪さらし」

上郷小学校の6年生は、毎年自分達で和紙の卒業証書を漉いています。大井平和紙保存会（山岸祐二さん）に手ほどきを受けながら、和紙の原料となるコウゾの刈り取りから紙漉きまで全ての工程を行っています。その工程の中に、「雪さらし」があります。これは、薄黄緑色をしているコウゾの繊維を白くするためのもので、煮て柔らかくした繊維を日の当たる雪上に広げます。すると雪の表面に紫外線が当たって発生するオゾンによって繊維が白くなります。これは、オゾンのもつ殺菌や脱臭・脱色などの作用を利用したもので、雪国ならではの漂白方法です。この方法は和紙だけでなく、越後上布などにも利用されています。

（上郷小学校と大井平和紙保存会の活動については、来年度発行の『津南学』10号に詳しく掲載する予定です）



↑雪の上にコウゾの繊維を広げる。



←雪さらし後の繊維。2週間程で、雪のように真っ白に。



## 第2回 苗場山麓ジオパーク研究コンクール 入賞作品ご紹介 ②



【苗場山麓ジオパーク推進室長賞】  
苗場山麓ジオパーク新聞  
津南中等教育学校1年生の皆さん



【ジオパーク賞】  
身近にさく花  
栄小中学校4年 保坂 泉妃さん



【ジオパーク賞】  
てんぼう台めぐりバイカモのかんさつ  
津南小学校2年 田中 美香さん



【ジオパーク賞】  
つなんまちのポスター  
津南小学校2年 石澤 蓮太さん



【特別賞】  
赤沢城  
芦ヶ崎小学校3年 石田 幹さん



【特別賞】  
ぼくの集めた石  
芦ヶ崎小学校4年 滝沢 俊太さん

前号に続き、入賞作品を掲載しました。

ご応募いただきました児童生徒の皆さん、各学校の先生方、第2回苗場山麓ジオパーク研究コンクールにご協力いただき、ありがとうございました。

令和3年度も開催を予定していますので、開催の時期になりましたら改めてお知らせいたします。次回も、アッと驚くような研究作品をお待ちしています。



認定ジオガイド  
が伝える

# ここが好きだよジオパーク

認定ジオガイドがおすすめの場所、  
もの、ことなどを紹介していきます。

山本 信子さん



## 今、コロナ禍に思う（ガイド No.23 山本 信子さん）

「今年度は新型コロナ感染拡大予防の為に様々な措置が取られてガイドの活動も少なかったなあ」と思いながら苗場山麓のGUIDEBOOKを読み返してみると、ジオパーク活動を通じて地域振興を図り、人づくりを進めようとする意気込みが記されていました。ジオパークのホームページには、ジオパークを楽しむコツは、自分の五感をフルに活用して全身で感じる事。そしてガイドを頼んでみてください。今まで気づけなかった大地の営みや自然をさらに深く楽しめるはず。と紹介されていました。ガイドの役割は重要です。発行されてきた振興協議会だよりもガイドの皆さんの体験や興味に裏付けされたジオパークへの熱い思いが載せられています。顧みて私はガイドの役割が果たしていたかと赤面の思いです。

ジオパークの対象の中でも私は「ヒト」の部分が好きです。河岸段丘の形成を説明したときには、この地の産業が如何にジオを利用しているのかをお客様の生活に結びつける形で紹介しようと心掛けています。森林の中を歩くときには動植物の紹介もさることながら木肌や種に触り、匂いを嗅ぎながら雪国の生活のなかでどう活かされてきたかを話したいのです。秋山郷のトレッキングコースが集落の生活の場を紹介出来るように設定されているのも嬉しいのです。石垣田や揺れるつり橋は、人々の生活を語り、生きていく力を感じていただく場面です。

なじもんの資料室にある本物の土器にさわると、縄文人と握手をしたようです。縄文時代の生活の仕方が現在の雪国の生活にも沢山引き継がれていることを話します。ですが、只、美しい素晴らしいばかりではなく過疎地が抱える厳しい現実の説明もしなくてははいけませんね。勿論、直売所・お土産屋さんや酒蔵に立ち寄った時には猛烈にPRします。地域の皆さんの顔が見えるのがガイドの強みですからね。食を含めた案内が少ないのは残念です。生産の苦労や喜び、お店の方々のこだわりなども是非紹介したいところです。自分でツアーを組みますが欲張り過ぎて丁寧に紹介できていないことも反省です。今後はテーマを絞ったツアーが組めればなあと思っています。ジオサイトの展望台に立ち、春は水が引き込まれて輝く水田、夏の青々とした田畑や山河、黄金色から錦に染まる秋、まさに白い世界の冬、眼前にひろがる大地に向かってお客様と一緒に必ずしていることがあります。“ヤッホー”と“ガンバロー”のコールです。ここで生きる方々を思うとき叫ばないではいけないのです。一日も早く新型コロナの感染が収まり皆様のそしてお客様の笑顔が見たい、展望台から大声で叫びたいと強く思います。



トレッキングツアー



見玉公園にて



見倉橋を渡る

### 【お詫びと訂正のお知らせ】

令和2年12月23日発行の振興協議会だより46号に掲載しました「ここが好きだよジオパーク」の記事におきまして、「社会科同好会」、「石沢寅治氏」と記載しておりましたが、正しくは「社会科同好会」、「石沢寅二氏」となりますので訂正させていただきます。読者の皆様、及び関係者各位にご迷惑お掛けいたしましたことを、深くお詫び申し上げます。





## 第4回ガイド研修「ツアー案を考えよう」

2月7日(日)の午後、津南町総合センターにおいて、今年度最後のガイド研修を行いました。テーマは、「コロナ禍に対応した客層別、苗場山麓ぶらり旅の作成」として、客層を「家族連れ」、「〇〇お宅」、「女子会」などいくつかを設定。時間帯は9:00～13:00頃を想定し、昼食時間、トイレ休憩の場所と時間を確保するという条件を設けました。

その後、「わたしのおすすめのぶらり旅はこれだ。」と称して、ガイドの役員であるリード役から以下4つのぶらり旅案に関心をもつグループに分かれ、具体的なプランを練り上げました。

- 雪の恵みを味わおう(収穫体験とその食材を使って料理する)
- 飯山線とレンタサイクルの旅(飯山線の利用とレンタサイクルを活用)
- 今、戦国が面白い(山城跡をたどり、道満丸伝説と上杉家・市河氏など戦国のロマンを味わう)
- 牧之の足跡をたどる(秋山記行において、鈴木牧之がたどった秋山郷のぶらり旅を小赤沢をとその周辺で体験する)

そのまま、苗場山麓ジオパーク内外のお客様に提供できるのではないかと考えるツアー案ができ、ガイド研修ではじめて、ガイドが主体となって「ぶらり旅」案をつくる研修となりました。ガイドがおのおの1「ぶらり旅」を紹介し、同様の研修を積み重ね、ガイド養成講座に取り入れていけば、ガイドの力量の向上にも繋がります。今後、ホームページにも観光商品やモデルコースとして紹介できればと考えています。



ツアープランの発表



## 突撃しよう!となりのジオ便利～磐梯山ジオパークからこんにちは～(磐梯山ジオパーク専門員 蓮岡 真)

### (1) 地域をつなぐ磐梯山ジオパークのテーマと物語

磐梯山ジオパークの醍醐味は、磐梯山の誕生から現在までの「大地と人と自然」の物語をたどるところにあります。2011年日本ジオパーク認定時には構成3町村に別れた10エリアで地域資源の活用を図っていました。しかし、ジオパーク活動の中で、メインテーマである『磐梯火山の誕生と変遷、特に水蒸気爆発による山体崩壊と岩なだれがもたらした大規模な地形及び自然環境の変化について理解を深めるとともに、磐梯山が人々の生活や歴史に与えた影響、そこで形成された独自の文化について学ぶことである。』をもとに、2015年に4つのサブテーマを設定し、これらの関係をメインテーマに沿って体験できるように、5つの物語が誕生しました。磐梯山を一円とするジオパークの連携が進みだしました。

### (2) 地域をしなやかに再生するジオパーク活動

#### 【磐梯山ジオパークカレーの誕生】

2017年7月15日(1888年磐梯山噴火の日)、磐梯山の勇姿に魅せられ、こだわりのごはん型「ライス磐梯山」が地元有志(現在の事務局支援員)の協力で完成しました。趣向を凝らした3町村の20店舗以上のカレーと出会い、食と農のテーマからジオパークが楽しめます。

#### 【ばんだいジオファーマーズの集結】

2020年、農業を通して地元を盛り上げようと活動する若手農業集団「ばんだいジオファーマーズ」が誕生しました。彼ら10名はトマト、アスパラ、ネギ、ジャガイモ、サツマイモ、米、蜂蜜、乳牛などを生産しています。その大地の恵みをもたらす磐梯山の湧水や地下水、土壌、そして地元の歴史・文化などのストーリーと自慢の生産品を結びつけた魅力をSNSや対面販売、収穫体験などを通じて紹介し多くのファンを増やしています。

#### 【知られざる5万年前の噴火と縄文の物語】

磐梯山の南西麓には福島県最大の縄文集落「法正尻遺跡」があります。縄文時代中期の土器・土製品・石器など855点が国指定重要文化財に指定されています。さらに遺跡の位置する丘陵は、磐梯火山の岩なだれ堆積物(ジオパーク活動で初めて地域に浸透した火山噴火)から構成された小丘、いわゆる“流れ山”が連続した地形が広がり、湿原や沼地も多くあったと推測され、知られざる万年、千年、そして現在の人々をつなぐ大地と自然と人々の物語が新たなツーリズムをつくりだしています。

活動から10年、磐梯山地域の多様性とジオパークの思考が数多く出会い、理解が深まる活動が盛んになっています。



ほうしゅういせき  
法正尻遺跡